

基本施策7	主体性・創造性・生きがいをはぐくむ教育・文化のまちづくり
目標12	生きる力と人間性豊かな心をはぐくむ教育が行われるまちをつくる【教育】
基本戦略25	学校教育を充実する

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0601900	小・中学校、幼稚園、学校給食施設	少子化や学校施設の老朽化が進む中、児童生徒等の良好な教育環境を整備するため、学校等の適正配置及び施設整備の推進を図る。							<p>大川第一・天王統合中学校建設や今後の学校再編については、保護者や地元関係者等への積極的な情報提供と意見集約を行う。</p> <p>平成20年6月に策定を行ったさぬき市学校再編計画については、今後の社会情勢の変化や児童・生徒数の減少などによる諸課題に対応し、教育の充実・振興が図られるよう必要に応じて見直しを行う。</p>	<p>昨年同様、学校再編事業の推進にあたっては、保護者等のコンセンサスを十分に計り、スムーズに再編計画が進むよう取り組む。</p>	継続する
事業名											
学校再編計画推進事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	大川第一・天王統合中学用地造成工事	%	50	50		事業費	149,367	371,684			
						特定財源	137,500	344,300			
所管課						一般財源	11,867	27,384			
学校再編対策室											
	数値化できない成果										
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0537700	児童・生徒・保護者	児童生徒一人一人に応じた授業の充実を図り、確かな学力・豊かな心・健やかな体づくりをおして生きる力を育成する。また、積極的な学校教育の情報公開をおして信頼される学校経営を進める。							<p>ふるさとと教育については、報告書が提出されているが、実施した内容の羅列に終わっている学校もあり、全体を通じた研究成果の分析・検証をさらに求めていく必要がある。</p>	<p>他の学校の参考となるよう、研究の成果をまとめた冊子を有効活用していく必要がある。</p>	継続する
事業名											
学校教育事業(研究推進校の指定)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	ふるさと教育研究推進校	校数	2	2		事業費	200	200			
						特定財源	0	0			
所管課						一般財源	200	200			
学校教育課											
	数値化できない成果										
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0536900	市立小中学生	児童生徒が相談しやすい場として心の教室を設け、悩みや不安を把握し、児童生徒の不安を解消していくための支援活動を行い、児童生徒の心身の健康を図る。							<p>小学校段階では、自ら相談室に赴いて指導員に直接悩みを相談するのは難しい。</p>	<p>相談員の巡回活動等の工夫をしていきたい。</p>	継続する
事業名											
心の教室相談員設置事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	不登校発生率	%	0.7	5		事業費	2,814	2,812			
						特定財源	0	0			
所管課						一般財源	2,814	2,812			
学校教育課											
	数値化できない成果										

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0903201	幼児、児童・生徒・教職員	教育環境の整備を行い、快適な学習環境を提供する。							普通教室以外の教室にはアナログテレビが多数あるため、地上デジタル化を進めていきたい。	平成23年度中に学校が希望する全教室のテレビについて地上デジタル化を進める。	継続する
事業名	学校IT教育環境整備事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
		電子黒板の整備率		1	1	計画	実績				
						事業費	0 32,886				
						特定財源	0 29,815				
						一般財源	0 3,071				
所管課											
学校教育課		数値化できない成果									
0535200	小・中学校の児童生徒及び幼稚園児	児童生徒等の英語学力の向上と国際理解教育の充実を図る。							さぬき市内の6中学校を2名の外国語指導助手を派遣しているが、一中学校に勤務する日数が少なく、継続的また定期的な授業が出来ない。また小学校、幼稚園においても平均的に派遣をしたいが、学校規模等により不均衡な状態であるので、計画的に進めていきたい。	幼稚園・学校等との連携をとりながら効率的・計画的に外国語指導助手を派遣する必要がある。	重点的に継続する
事業名	国際理解教育推進事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
		ALT配置人数	人	2	2	計画	実績				
		中学校1学級当たり年間授業時間数	時間	21	14	事業費	5,377 8,605				
		小学校年間派遣回数	回	36	31	特定財源	120 201				
		幼稚園派遣回数	回	16	20	一般財源	5,257 8,404				
所管課											
教育総務課		数値化できない成果 直接外国人教師から学ぶことによる児童生徒等の英語力、国際感覚の向上度									
0526403	農業者及び消費者	消費者ニーズに対応した高品質な農産物を安定的に生産し、多様な流通・販売体制により、産地づくりを図る。							「香川県産」の米粉は、現在のところ全てさぬき市産であるが、今後は米粉を使用したパンを学校給食に導入できるよう検討する。		継続する
事業名	産地づくり事業(学校給食)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
						計画	実績				
						事業費	0 0				
						特定財源	0 0				
						一般財源	0 0				
所管課											
農林水産課		数値化できない成果									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0537301	管内幼稚園及び小・中学校の園児・児童・生徒	より安全でよりおいしい給食の提供と効率的な調理の推進。地産地消および食育の推進。							<p>重要指標の品目数については、天候・生産物の発育状況等の影響を受けるため、食育推進基本計画における地場産物使用割合(食材数ベース)の目標値である30%を超えたものの伸び悩んでいる。市場・地域の生産者団体等と、連携をとり、お互いの情報を交換し、より一層充実した学校給食が提供できるよう、打ち合わせ会を定期的を実施することにより、この事業を発展させていきたい。</p>	この事業は、継続して行うことにより、成果がでるものであるため、引続き関係機関等と情報交換をし、地場産物を学校給食に提供し、それらと結びつけた食育の推進を、引続き図っていきたい。	継続する
事業名											
学校給食共同調理場事業(地産地消)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	給食献立に使用した生産者の分かる産物の使用品目	品目	22	63							
					事業費	0	0				
所管課					特定財源	0	0				
学校教育課					一般財源	0	0				
	数値化できない成果										
0537000	預かり保育利用園児・保護者	地域の実態や保護者の要望を踏まえ、利用園児に対し安心安全な午後保育の場を提供するとともに、子育て支援をする。							<p>・子育て支援の観点から見た場合、預かり保育の実施条件の見直し(保護者の子育て不安やストレスに対応)を検討していかなければならないが、そのためには専用の預かり保育室の整備や指導員の充実を図っていく必要がある。</p>	施設面や財政面から非常に厳しい課題であるが、子育て支援の充実のためにも預かり保育を希望する保護者のニーズに対応できるように、3歳児の預かり保育等条件面の緩和について検討していきたい。	継続する
事業名											
幼稚園預かり保育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	利用者数の割合	%	25	22							
					事業費	13,424	10,716				
所管課					特定財源	11,258	10,716				
学校教育課					一般財源	2,166	0				
	数値化できない成果										
0535100	小・中学生	情報教育環境を整備することにより、情報教育の推進を図る。							<p>平成21年度実施した教員1人1台校務用コンピューター整備事業により、児童及び生徒1人1台の教育用コンピューターの配備と併せてハード面の充実を図ってきたところであるが、今後はこれらのIT機器を活用し、学力向上を図るべく、新たな試みが必要である。</p>	情報教育の推進を図るための施設整備は完了したが、今後、機器の有効活用を図るためのソフトの充実に取り組む必要がある。	継続する
事業名											
学校IT教育環境整備事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	授業で生徒1人に割られるパソコン台数	台	1	1							
					事業費	29,873	30,764				
所管課					特定財源	0	0				
教育総務課					一般財源	29,873	30,764				
	数値化できない成果										

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0535400	各小・中学校	学校施設の適正・効率的な維持管理を行い、良好な教育環境の維持を図る。								
事業名										
小・中学校施設管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		施設管理に係る各種委託業務については、業務の内容の見直し等を図る必要がある。また、使用料および賃借料については必要事務機器等の把握をし、経費の見直しを今後進めていく。	各種委託業務や賃借料等の見直しなど一定の効果は上がったものの、管理に要する経費は限界にきていると思われる。今後は、学校再編に伴う備品等の所管替えなどを実施し、経費の節減に努める。	継続する	
	施設管理費	千円	29189	28641	計画	実績				
					事業費	29,189				28,641
					特定財源	0				0
所管課					一般財源	29,189	28,641			
教育総務課	数値化できない成果									
0535500	各小・中学校	学校施設の適正・効率的な維持管理を行い、良好な教育環境の維持を図る。								
事業名										
小・中学校施設整備事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		市内小、中学校(津田小を除く)が老朽化に伴い、修繕箇所が年々増えてきている。また、統廃合が関係する学校については、大規模改修工事時に対応したいところだが、現状は難しい。また、遊具についても、保守点検の結果危険性のあるものについては使用禁止にしているが、年々その数も増加傾向にあり、そのままの状態でも長期間おいておくわけにいかないのので、改修及び修繕をしていく必要がある。	現在は、学校再編の計画と併せて実施しているが、それまで間に合わない箇所や緊急を要する箇所、危険な箇所、授業に直接影響のある箇所については、工事も最小限にとどめ、実施している。今後も箇所選択と事業費の抑制に努めながら実施していく。	継続する	
	営繕・補修工事費	千円	22698	21430	計画	実績				
					事業費	22,698				21,430
					特定財源	18,400				7,200
所管課					一般財源	4,298	14,230			
教育総務課	数値化できない成果									
0902400		子供の体力向上と人間性豊かな人格の形成等を図るため、事業を実施する団体に対して補助金を交付する。								
事業名										
屋外運動場芝生化促進モデル事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		芝生の注文が5月上旬に県外の業者に依頼したが、全国的に学校の緑化活動が盛んで、確保に時間がかかった。また、芝生の張付け前に専門業者に運動場の土質調査をしてもらったところ、どの学校、幼稚園にもいえることだが、土質改良しなければならず、薬剤散布、耕起作業も保護者の協力が必要になってくる。	この事業は21年度が最初の年であったため、芝生業者や耕起作業前の地元土木業者との打ち合わせ、管理器具の準備等、担当課が行ってきたが、今後は学校(幼稚園)の実行委員会が主体となって事業をすすめていかなければならない。	見直し(目的・手法・効率性)をする	
	屋外運動場芝生化促進モデル事業		950	849	計画	実績				
					事業費	950				849
					特定財源	0				0
所管課					一般財源	950	849			
教育総務課	数値化できない成果									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0902500	小田小学校	小田小学校用地の地図訂正、用途廃止及び地番の復元等用地を確定させた後、買収し、同用地10年間の使用料を支払うものである。						この事業は以前より国有地として存在していた用地を市が国土調査時に併せて小田小学校用地として合筆したため、財務局から復元・買収し、また同土地の10年間の使用料を支払うよう要請があったものに対応した事業である。今後同様の案件が発生した際には速やかに予算化し、実施する必要がある。		完了する
事業名										
小田小学校用地地図訂正等事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	事業進捗率	%		100						
					事業費	0	2,536			
所管課					特定財源	0	0			
教育総務課					一般財源	0	2,536			
	数値化できない成果									
0902600	小、中学校及び幼稚園	公立学校施設台帳図面の電子化及び市内公立学校の既存図面をスキヤニングし、システム管理を行うことにより、正確かつ効率的な情報管理化を図る。						現行システムは公立学校施設台帳(小、中学校及び幼稚園)範囲を網羅しているが、今後は社会体育施設、社会教育施設を含めた教育委員会全体での一括管理を検討し、より一層情報の共有化・効率化を図っていく必要がある。		廃止する
事業名										
公立学校施設台帳図面整備事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	事業進捗率			100						
					事業費	0	6,959			
所管課					特定財源	0	6,900			
教育総務課					一般財源	0	59			
	数値化できない成果									
0902700	志度小	校舎の改築にあたっては、高機能かつ多機能な施設として整備することにより、児童の学習力の向上を図ると共に、安全面にも配慮した建物として整備を行う。						改築工事スケジュールが長期にわたることから、実施にあたっては、工期工程を順守させることは当然として、児童の学習環境を維持し、また、近隣住民へも配慮した施工を行わせる必要がある。	志度小学校校舎改築事業については、実施設計が完了し、9月に工事着手をしている。今後は、地元説明会の開催、工程会議の開催、学校現場への情報提供など発注者及び請負業者連携のもと、円滑な事業執行に努める必要がある。	継続する
事業名										
小学校改築事業(志度小)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	事業進捗率(志度小基本設計)H21	%		100						
	事業進捗率(志度小地質調査)H21	%		100	事業費	0	13,729			
所管課	事業進捗率(志度小基本設計)H21	%		100	特定財源	0	13,113			
教育総務課	事業進捗率(志度小実施設計)H21繰	%			一般財源	0	616			
	事業進捗率(志度小工事請負)H22	%								
	数値化できない成果									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0902800	造田小、石田小、神前小、長尾小	学校施設は児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保のため、校舎等の耐震化を図るものである。						実施にあたっては、工期工程を順守させることは当然として、児童の学習環境を維持し、また、近隣住民へも配慮した施工を行わせることが必要である。	耐震補強工事については、すでに4小学校において工事着手している。今後は、工程会議の開催、学校現場への情報提供など発注者及び請負業者連携のもと、円滑な事業執行に努める必要がある。	継続する
事業名										
小学校耐震改修事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	事業進捗率(4小学校施工監理)H21繰	%								
	事業進捗率(石田・神前小追加実施)H21繰	%			事業費	0	13,115			
	事業進捗率(4小学校工事請負)H21繰	%			特定財源	0	12,620			
所管課					一般財源	0	495			
教育総務課										
	数値化できない成果									
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0902900	大川第一・天王統合中	校舎の改築にあたっては、高機能かつ多機能な施設として整備することにより、児童の学習力の向上を図ると共に、安全面にも配慮した建物として整備を行う。						建設工事期間が2ヶ年にわたることから、実施にあたっては、工期工程を順守させることは当然として、安全管理体制を強化し、また、近隣住民へも配慮した施工を行わせることが必要である。	統合中学校建設事業については、平成21年度に基本設計を行い、本年度実施設計に取り掛かっている。今後、詳細な設計について、学校現場と協議しながら進める必要がある。	継続する
事業名										
中学校建設事業(大川第一・天王統合中)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	事業進捗率(統合中基本設計)H21	%		100						
	事業進捗率(統合中地質調査)H21	%		100	事業費	0	18,442			
	事業進捗率(統合中実施設計)H22	%			特定財源	0	18,300			
所管課					一般財源	0	142			
教育総務課										
	数値化できない成果									
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0903000	長尾中、大川一中、津田中、志度東中、志度中	学校施設は児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保のため、校舎等の耐震化を図るものである。						実施にあたっては、工期工程を順守させることは当然として、児童の学習環境を維持し、また、近隣住民へも配慮した施工を行わせることが必要である。	耐震補強工事については、学校再編計画との整合性を図りながら志度中学校で工事着手している。今後は、工程会議の開催、学校現場への情報提供など発注者及び請負業者連携のもと、円滑な事業執行に努める必要がある。	継続する
事業名										
中学校耐震改修事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	事業進捗率(志度中施工監理)H21繰	%								
	事業進捗率(志度中追加実施)H21繰	%			事業費	0	23,730			
	事業進捗率(志度中工事請負)H21繰	%			特定財源	0	22,688			
所管課					一般財源	0	1,042			
教育総務課										
	数値化できない成果									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性	
0903100	津田幼、長尾幼、造田幼	学校施設は児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保のため、校舎等の耐震化を図るものである。							実施にあたっては、工期工程を順守させることは当然として、児童の学習環境を維持し、また、近隣住民へも配慮した施工を行わせることが必要である。	耐震補強工事については、すでに2幼稚園において工事着手している。今後は、工程会議の開催、学校現場への情報提供など発注者及び請負業者連携のもと、円滑な事業執行に努める必要がある。	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)						
幼稚園耐震改修事業	事業進捗率(2幼稚園施工監理)H21繰		%			計画		実績				
	事業進捗率(2幼稚園工事請負)H21繰		%			事業費		0				5,275
						特定財源		0				3,016
所管課						一般財源		0				2,259
教育総務課	数値化できない成果											
0536300	幼児、児童・生徒・教職員	幼児、児童・生徒等の健康管理や適正な就学を図り、望ましい学校教育を支援するとともに、教職員の資質向上を図る。							新学習指導要領で示された学校教育目標の具現化や評価の在り方をどう図るかが課題となっている。	新学習指導要領については、平成23年度から小学校が完全実施となることから、教具・教材を整備するとともに英語活動支援員を継続配置する等、実施に向けて混乱がないよう配慮したい。	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)						
学校教育推進事業	小学校中学年における副読本活用率		%	100	100	計画		実績				
	特別なテーマを指定しての研究活動に取り組む学校の割合		%	58		事業費		8,750				8,611
	幼稚園授業料減免者数		人	45	48	特定財源		2,024				1,934
所管課	学校事務共同実施協議会全体会		回	7	7	一般財源		6,726				6,677
学校教育課	幼、小中教職員に係る研修会		回	12	12							
	数値化できない成果											
0803300	主に通常学級に在籍する発達障害等の障害のある児童生徒(担当教員)	担当教員との連携のもと、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導や必要な支援を行う。							<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の現状は通常学級に在籍している発達障害(疑いを含む)のある児童生徒が増加傾向にあり、授業を進めていく上で該当児童生徒は困難を抱えている。一人一人の児童生徒が自分に自信を持ち、充実した学校生活を送るためには特別支援教育支援員の支援が必要であり、各学校の状況に対応した支援員の配置が必要と考える。</li> <li>支援員の資質向上のために配置校での研修を含め発達障害児に対応した支援等の研修が必要である。</li> </ul>	各校の実態に応じて支援員の増員を検討していく必要がある。支援員における児童生徒への適切なかわりを行うためには障害の理解を進めるための研修を検討していきたい。	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)						
特別支援教育支援員配置事業	支援者数		人	9	9	計画		実績				
						事業費		8,352				8,266
						特定財源		0				0
所管課						一般財源		8,352				8,266
学校教育課	数値化できない成果											

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0536400	障害のある児童(担当教員)	担当教員との連携のもと、支援者が補助することにより、障害のある児童の学校生活を豊かなものにするとともに、障害の程度に応じた学習を進める。						<p>・支援者の資質向上のため、該当児童の障害理解も含め障害に対応した支援方法や内容について、各学校における研修も含め計画的な研修が必要である。</p>	<p>特別支援教育スタートに伴い、児童一人ひとりの実態に応じた指導や支援が必要とされている。学校の状況を踏まえ、国が掲げている特別支援教育支援員の制度により適切な対応をしていきたい。</p>	継続する
事業名										
小学校障害児支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	支援者数	人	3	3	事業費	3,814	3,685			
					特定財源	0	0			
所管課					一般財源	3,814	3,685			
学校教育課										
	数値化できない成果									
0536500	児童・教職員	学校教材備品及び学校図書の実を図り、児童によりよい学習環境を提供するとともに、教員の学習指導の実を図る。						<p>財政的事情もあり、コストを抑える必要性もあるが、新学習指導要領の40年ぶりの大幅な改正もあり授業に必要な備品が不足している。理科教育設備整備費等補助金は2分の1となっているが、それ以下の支給に留まっている。</p>	<p>限られた予算の範囲内で効率的な設備の整備を行う必要があり、備品の有効活用も視野に入れながら学校教材備品及び学校図書の充実を図り、児童の学習環境及び教職員の資質の向上に役立てていきたい。</p>	継続する
事業名										
小学校教育振興事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
					事業費	5,246	9,007			
					特定財源	453	4,478			
所管課					一般財源	4,793	4,529			
学校教育課										
	数値化できない成果	図書の充実を図り、児童が図書に親しみやすい環境を提供する。								
0536600	経済的援助が必要な児童の保護者	経済的に困っている児童の保護者に対し、学校生活に必要な経費の一部を援助し、児童が支障なく就学できるようにする。						<p>社会情勢等の変化により、本事業に対する要望が高まっており、対象者数も年々増加している反面、財政状況が緊迫しており、支給額及び対象者の範囲を見直しせざるをえない状況にある。</p>	<p>準要保護児童に対する国庫補助は平成17年度に廃止されたが、引き続き地方交付税算定時の基準財政需要額に算入されている。県内他市町とも足並みをそろえる必要があるため、今後の動向に注視し、見直しを検討したい。</p>	継続する
事業名										
児童就学援助事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	就学援助率	%	7	7	事業費	13,643	13,182			
					特定財源	344	385			
所管課					一般財源	13,299	12,797			
学校教育課										
	数値化できない成果									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性			
0536700	生徒・教職員	学校教材備品及び学校図書の充実を図り、児童によりよい学習環境を提供するとともに、教員の学習指導の充実を図る。							財政的事情もあり、コストを抑える必要性もあるが、新学習指導要領の40年ぶりの大幅な改正もあり授業に必要な備品が不足している。理科教育設備整備費等補助金は2分の1となっているが、それ以下の支給に留まっている。	限られた予算の範囲内で効率的な設備の整備を行う必要があり、備品の有効活用も視野に入れながら学校教材備品及び学校図書の充実を図り、児童の学習環境及び教職員の資質の向上に役立てていきたい。	継続する			
事業名														
中学校教育振興事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績							
						事業費	4,764	6,859						
					特定財源	249	2,198							
	所管課				一般財源	4,515	4,661							
学校教育課														
	数値化できない成果	図書の充実を図り、生徒が図書に親しみやすい環境を提供する。												
0536800	経済的援助が必要な生徒の保護者	経済的に困っている生徒の保護者に対し、学校生活に必要な経費の一部を援助し、生徒が支障なく就学できるようにする。										社会情勢等の変化により、本事業に対する要望が高まっており、対象者数も年々増加している反面、財政状況が緊迫しており、支給額及び対象者の範囲を見直しせざるをえない状況にある。	準要保護生徒に対する国庫補助は平成17年度に廃止されたが、引き続き地方交付税算定時の基準財政需要額に算入されている。県内他市町とも足並みをそろえる必要があるため、今後の動向に注視し、見直しを検討したい。	継続する
事業名														
生徒就学援助事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績							
	就学援助率	%	9	9		事業費	13,819	12,280						
					特定財源	290	215							
	所管課				一般財源	13,529	12,065							
学校教育課														
	数値化できない成果													
0537500	児童・保護者	・児童一人一人に応じた授業の充実を図り、確かな学力・豊かな心・健やかな体づくりをとおして生きる力を育成する。また、積極的な学校教育の情報公開をとおして信頼される学校経営を進める。児童・教職員の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保する。							新学習指導要領の完全実施に向けての移行期間になるため、各学校の教育計画を精査し、教育課程が確実に実行されるよう指導していく。 不登校児童生徒数については、小学校からの人間関係等を引きずっている場合があるので、特に小学校段階における欠席の分析や早期対応について検討していきたい。	学校再編計画をもとに再編計画が進められているが、学習環境向上のため、施設整備や支援員配置に努めていきたい。	継続する			
事業名														
小学校施設管理事業(小学校教育事業含む)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績							
	学習状況調査県比較(6年)	ポイント	1	1		事業費	148,810	141,061						
					特定財源	21,689	23,935							
	所管課				一般財源	127,121	117,126							
学校教育課														
	数値化できない成果	すべての児童について学習指導要領に掲げた目標を達成する。												

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性			
0537600	生徒・保護者	生徒一人一人に応じた授業の充実を図り、確かな学力・豊かな心・健やかな体づくりをとおして生きる力を育成する。また、積極的な学校教育の情報公開をとおして信頼される学校経営を進める。・生徒・教職員の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保する。						<p>新学習指導要領の完全実施に向けての移行期間になるため、各学校の教育計画を精査し、教育課程が確実に行えるよう指導していく。</p> <p>不登校児童生徒数については、スクールカウンセラーや心の教室相談員の活用をさらに進めるとともに、スクールソーシャルワーカーを活用した各機関の連携や環境整備の面からのアプローチも図っていききたい。</p>	<p>学校再編計画をもとに再編計画が進められているが、学習環境向上のため、施設整備や支援員配置に努めていきたい。</p>	継続する			
事業名		指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績		
中学校施設管理事業(中学校教育事業含む)	学習状況調査県比較(3年)	ポイント	2	1									
					事業費	51,086	47,625						
					特定財源	320	295						
所管課					一般財源	50,766	47,330						
学校教育課													
数値化できない成果		すべての生徒について学習指導要領に掲げた目標を達成する。											
0535700	各幼稚園	幼稚園施設の適正・効率的な維持管理を行い、良好な教育環境の維持を図る。									<p>施設管理に係る各種委託業務については、業務の内容の見直し等を図る必要がある。また、賃借料については必要事務機器等の把握をし、経費の見直しを今後進めていく。</p>	<p>各種委託業務や賃借料等の見直しなど一定の効果は上がったものの、管理に要する経費は限界にきていると思われる。今後は、学校再編に伴う備品等の所管替えなどを実施し、経費の節減に努める。</p>	継続する
事業名		指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画						
幼稚園施設管理事業	施設管理費	千円	5105	4610									
					事業費	5,105	4,610						
					特定財源	0	0						
所管課					一般財源	5,105	4,610						
教育総務課													
数値化できない成果													
0535800	各幼稚園	幼稚園施設の適正・効率的な維持管理を行い、良好な教育環境の維持を図る。						<p>市内小、中学校(津田小を除く)が老朽化に伴い、修繕箇所が年々増えてきている。また、統廃合が関係する学校については、大規模改修工事時に対応したいところだが、現状は難しい。また、遊具についても、保守点検の結果危険性のあるものについては使用禁止にしているが、年々その数も増加傾向にあり、そのままの状態でも長期間おいておくわけにいかないため、改修及び修繕をしていく必要がある。</p>	<p>現在は、学校再編の計画と併せて実施しているが、それまで間に合わない箇所や緊急を要する箇所、危険な箇所、授業に直接影響のある箇所については、工事も最小限にとどめ、実施している。今後も箇所選択と事業費の抑制に努めながら実施していく。</p>	継続する			
事業名		指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画						
幼稚園施設整備事業	宮繕・補修工事費	千円	4650	4611									
					事業費	4,650	4,611						
					特定財源	2,900	0						
所管課					一般財源	1,750	4,611						
教育総務課													
数値化できない成果													

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性		
0537100	障害のある園児	支援者が障害のある幼児をサポートすることにより、安全で充実した幼稚園生活ができるとともに、その子の障害にあった育ちを支援する。							<p>・障害(疑い含む)のある幼児は早期発見・早期療育によりその障害の状況の改善が図られる。各幼稚園には発達障害を含め障害のある幼児の在籍が増加しており、個の状況に応じた支援が必要である。集団生活・学校生活・社会生活の適応を促していくために財政が緊迫しているなかではあるが、幼稚園生活補助員の増員が必要である。</p>	<p>個別の支援を必要とする園児が年々増加し、保護者の幼稚園に入園させてやりたいという要望も年々大きくなっている。財政的に非常に厳しい中ではあるが、幼稚園教育充実の観点から支援員増員を検討したい。</p>	継続する		
事業名													
幼稚園障害児支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績						
	支援者数	人	5	5		事業費	4,388	4,372					
					特定財源	0	0						
					一般財源	4,388	4,372						
所管課													
学校教育課	数値化できない成果												
0537200	私立幼稚園園児の保護者	私立幼稚園の授業料は市立幼稚園授業料の2.5倍～4倍となっているため、保護者の所得状況に応じ経済的負担を軽減する。										<p>高松市において第3子以降の単独補助(所得要件なし)を実施しており、幼稚園・保護者からのさぬき市での実施要望がある。補助額の増額が引続き行われ、一人当たりの支給額が増えている。現行では年度末に一括での支給を行っているが、保護者の負担を考えると分割での支給を行う必要がある。</p>	継続する
事業名													
私立幼稚園補助事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績						
	就園奨励費補助金受給者	人	42	46		事業費	5,484	4,242					
					特定財源	1,851	1,457						
					一般財源	3,633	2,785						
所管課													
学校教育課	数値化できない成果	幼稚園教育の振興											
0537400	幼稚園児・教諭・保護者	幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長を支援する。学級担任としての教諭を確保することにより、幼児教育の充実を図るとともに地域の幼児教育センターとしての活動を推進する。							<p>・少子化のなか、幼稚園間で地域差はあるがどの幼稚園も幼児数が減少している。同年齢での学級編制ができない幼稚園もあり、同年齢での望ましい集団活動ができにくくなっている。教育委員会が進めている学校再編計画のもとに幼稚園の統合・廃止の検討の必要がある。</p>	<p>学校再編計画のもとに、これから再編計画が進められることになった。この再編計画にあわせて事業の改善を検討していきたい。</p>	継続する		
事業名													
幼稚園施設運営事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績						
						事業費	62,413	62,675					
					特定財源	34,334	40,995						
					一般財源	28,079	21,680						
所管課													
学校教育課	数値化できない成果	幼児の育ちや保護者の思い											

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0537900	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す						<p>○施設の老朽化 ①昭和55年建設の園舎のため園内の便所、手洗い施設の改修が必要である。 ②園庭の遊具点検の結果、使用できないものがあるため、早急な改修が必要である ○これまで、津田幼稚園の特色である保護者参加型行事の運営が下記の理由から困難になりつつある。 ①園児数、家庭数の減少 ②共働き家庭の増加 ○預かり保育の充実 ①施設、予算面での改善</p>	<p>○施設の改修と充実 ○地域に開かれた幼稚園 ・いきいきネット・老人会等地域ボランティアに協力を求め、『地域の中で育つ子どもを育てる』を目標に幼稚園運営をめざす。 ○家庭数が減少しているが、保護者同士の交流を目的に園児・保護者が楽しめる行事の在り方を探っていく。</p>	<p>重点的に継続する</p>
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
津田幼稚園教育事業	就園率	%	87.5	100						
	園内研修回数	回	30	26	事業費	994	895			
	保護者向け講演会参加者数	人	165	151	特定財源	994	895			
所管課	親子が参加する教育活動参加者数	組	240	207	一般財源	0	0			
津田幼稚園	園だより等発行回数	回	32	30						
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する								
0538000	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す						<p>○年々園児数が減少傾向にある。特に今年度は全年齢10人以下となり、初めて4、5歳児複式学級になり、担任をもつ職員2名と園長で全職員3名となった。 ・子ども同士の刺激が少なく、遊びに広がりが見られなかったり、友達関係も固定化したりするので、保育や子どものかかわり、環境設定の見直しをしていくとともに、他園や保育所との交流を深められるようにしていく。 ・鶴羽小学校が閉校になったので、小学校教育への滑らかな移行を図るためにも、津田小学校との交流を計画的に図り、指導計画にも位置付けていく。 ・職員の資質向上のため、現職教育や研修のあり方を考える。 ・職員一人当たりの園務分掌が多くなり、ゆとりがなく学級経営にも支障が生じてくる。心身の健康あつての職務である。 ・地域の人材を活用していけるように工夫する。また、地域の人ととの交流につなげていく。</p>	<p>・就園率の問題だけでなく、地域的に子どもの人数が減少傾向にあることは確かである。また、保護者の就労形態の変化に伴い三歳児までは殆どの子が保育所に入所するようになったことも、園児数減に影響していると思われる。 ・今後、少人数保育のなかでの教育計画、指導計画の見直しを図り、本園ならではの教育の在り方や職員の資質向上のために、考えを出し合い深めながら取り組んでいく必要がある。</p>	<p>継続する</p>
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
鶴羽幼稚園教育事業	就園率	%	97	88						
	園内研修会回数	回	29	29	事業費	686	728			
	保護者向け講演会参加者数	人	40	60	特定財源	686	728			
所管課	親子が参加する教育活動参加者数	組	50	150	一般財源	0	0			
鶴羽幼稚園	園だより等発行回数	回	29	27						
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する								
0538100	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す						<p>○預り保育利用幼児の保育環境の見直しを進めていく必要がある。 ・コーナー遊びの充実(教具・教材を幼児が選択しやすい置き方) ・保育力の向上(外部の講師も積極的に招き、遊びを豊かなものにするとともに、預り指導委員の学びとする) ・家庭教育の大切さを啓蒙し、預り保育の適切な利用の仕方を促す。(預りほほえみ通信の発行・家庭教育学級の開催)</p>	<p>○富田幼稚園の預り保育は、さぬき市内の幼稚園の中でも1番多い園であるため、課題も多くある。 今ある課題をを明確にしなが、改善に努めていく。</p>	<p>継続する</p>
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
富田幼稚園教育事業	就園率	%	78	95						
	園内職員研修回数	回	40	38	事業費	965	964			
	保護者向け講演会参加者数	人	120	116	特定財源	965	964			
所管課	親子が参加する教育活動参加者数	組	340	332	一般財源	0	0			
富田幼稚園	園便り等発行回数	回	27	27						
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する								

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性	
0538200	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す						<p>○ 保護者に対して信頼される幼稚園が望まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き複式学級の実施や、後期のクラス替えを実施するにあたり、そのメリットをしっかりと把握し、保護者につたえらるとともに、デメリットに対しての対策を協議していく必要がある。</li> <li>・幼稚園での取り組みや活動を、いろいろな形で伝えていく必要がある。</li> <li>○ 地域に対して、開かれた幼稚園づくりをしていく。</li> <li>・小学校や保育所と交流をして、異年齢での活動の充実を図っていく必要がある。</li> <li>・地域の中でみんなで子育てをしていくために、園での取り組みを理解、協力してもらい、保育に生かしていく。</li> <li>○ 教職員の資質向上が望まれる。</li> <li>・保護者の不安な気持ちに寄り添い、支えていける保育者になるための資質向上が望まれる。</li> </ul>	<p>○ 保護者に信頼される幼稚園経営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と具体的な話ができるよう、充実した懇談会を実施する。</li> <li>・登園時に、幼稚園での様子をしっかりと伝え、成長が実感できるようにする。</li> <li>・園だより、クラスだよりなどを充実し、担任だけでなく園長からも発信し、それぞれの立場でより具体的に取り組みを伝えていく。</li> <li>○ 地域に対して、開かれた幼稚園づくりを目指していく。</li> <li>・小学校、保育所の教職員と現職教育などで交流し、連携をとって取り組んでいく。</li> <li>・地域の教育力を活用していく。</li> <li>・幼稚園での取り組みを発信し、理解・協力してもらおう。</li> <li>○ 教職員の資質向上に取り組む。</li> <li>・園内研修をしていく。</li> <li>・研修会等に積極的に参加し、研修したことを園内で伝えていく。</li> </ul>	継続する	
事業名	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す									
松尾幼稚園教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績
	就園率	%	100	100							
	園内研修回数	回	27	33	事業費	527	583				
所管課	保護者向け講演会参加者数	人	80	81	特定財源	527	583				
松尾幼稚園	親子が参加する教育活動参加者数	組	110	108	一般財源	0	0				
	園だより等発行回数	回	27	27							
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									
0701700	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す						<p>○ 地域社会や家庭の急速な変化をしっかりと把握し、子ども環境の再生を図りながら、保・幼・小との連携等幼児教育の総合的な組み立ても考えながら、幼児教育の質を高めていかなければならない。</p> <p>○ 幼稚園に対するニーズが多様化している。本園の状況をしっかりと見極め、対応し、保護者や地域の人々の信頼、協力を得るための具体的な方策を見出していく。</p> <p>○ 職員研修を色々な方法で行い充実を図り、幼稚園教員としての専門性をさらに向上させ、教育内容の充実につなげる。</p>	<p>○ 幼稚園の教育や幼児の育ちをもっと具体的に分かりやすく、保護者や地域の人々に知らせる機会や方法を今以上に工夫し、より信頼される幼稚園づくりに努める。</p> <p>○ 教育内容を充実することが、より保護者や地域の人々の理解と協力を得られることにつながることから、職員研修の充実を今まで以上に図り職員の資質を高め、信頼される幼稚園づくりを目指す。</p>	継続する	
事業名	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す									
志度幼稚園教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績
	就園率	%	46	46							
	園内研修回数	回	38	42	事業費	1,294	1,324				
所管課	保護者向け講演会参加者数	人	600	432	特定財源	1,294	1,324				
志度幼稚園	親子が参加する教育活動参加者数	組	900	1339	一般財源	0	0				
	園だより等発行回数	回	25	47							
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									
0538600	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す						<p>少子化で園児数が大幅に減っている。3園統合に向けて準備を進めていく必要がある。</p> <p>空き部屋を放課後児童クラブが使用するようになった。幼稚園経営に支障のないように十分な話し合いをしていくようにしたい。</p> <p>早朝保育のための時間外手当や研修旅費など園の大小に関係があまりない。他の時間外手当や旅費と別枠で配分してほしい。また、職員の資質向上のため、全国大会などに参加できるように幼稚園費として県外旅費を付けてほしい。</p> <p>保護者を対象とした講演会が親子で参加する活動を多くしたため十分な時間が取れなかった。次年度は、保護者対象の講演会などを増やし、幼児期に身につけなければいけない基本的な生活習慣やしつけなど大切なことを理解してもらおうようにしている。</p>	<p>少子化で園児数の減が大きい。毎年10人ずつ減っている。小田・鴨部幼稚園との交流を密にしていきたい。</p> <p>放課後児童クラブの職員と園児や児童がよりよく活動・生活できるように連携を密にしていこう。また、保護者への協力依頼もする。</p> <p>家庭教育の大切さを講演会、懇談などを通して呼び掛けていく。</p>	継続する	
事業名	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す									
中央幼稚園教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績
	就園率	%	66	71							
	園内研修回数	回	40	32	事業費	1,076	1,028				
所管課	保護者向け講演会参加者数	人	180	129	特定財源	1,076	1,028				
中央幼稚園	親子が参加する教育活動参加者数	組	500	549	一般財源	0	0				
	園だより等発行回数	回	20	20							
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0538700	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す							異年齢学級の為、保育室内・園外等の保育環境や保育内容を工夫していく。小学校や他園・地域の方との交流と信頼を深めていくことを引き続き取り組んでいきたい。また、職員間の研修がてせきるように内容の検討や時間の確保・他園の職員との情報交換にも十分に組み込んでいく。	教職員だけでなく地域の人材をいかしたり、小学校職員との連携を深め、幼稚園教育の充実を図っていく。また、職員の資質向上の為、多くの人との意見交換もしたり、現職教育の時間・場所も工夫して協力体制をとっていくことに努める。	継続する
事業名											
小田幼稚園教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	就園率	%	67	58							
	園内研修回数	回	30	28	事業費	479	408				
	保護者向け講演会参加者数	人	60	45	特定財源	479	408				
所管課	親子が参加する教育活動参加者数	組	180	80	一般財源	0	0				
小田幼稚園	園だより等発行回数	回	20	18							
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									
0538800	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す							複式学級では、大きな年齢差・経験不足の個人差や発達課題もあり、学級経営が非常に難しい。そこで、年齢別保育ができるように、就園率も上げる努力をしながら幼稚園教育の理解をしてもらえるようにする。子育てについての情報交換の場づくりに他園と家庭教育学級や保育参加・研修会参加等を多く計画していく。また、園内研修を深め、職員の資質向上の為、他園との合同現職教育・研修会をしていける時間の確保をする。職員間の仕事内容の見直しや職員間の協力・信頼関係も深めていく。	異年齢学級では担任のみならず少数の職員で取り組んでも補うことができないこともあるので、今後の幼稚園経営を見直していきたい。また、広く幼稚園教育を理解してもらえるように積極的にアピールして就園率が上がり、年齢別保育ができるように努めていきたい。	継続する
事業名											
鴨部幼稚園教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	就園率	%	52	52							
	園内研修回数	回	30	23	事業費	543	497				
	保護者向け講演会参加者数	人	50	16	特定財源	543	497				
所管課	親子が参加する教育活動参加者数	組	150	64	一般財源	0	0				
鴨部幼稚園	園だより等発行回数	回	20	16							
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									
0538900	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す							○学校支援ボランティア事業が22年度で終了のため、保護者ボランティアへの移行や地域の人材とのかかわりの強化が求められる。	○学校支援ボランティアや地域の人材が幼稚園教育を充実させていることを保護者に発信していく必要がある。 ○今後はボランティアに任せっきりにするのではなく、保護者と地域の方が協働しながら子育てしていくことの重要性を発信し実施に向けていくことが重要であると考える。	見直し(目的・手法・効率性)をする
事業名											
寒川幼稚園教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	就園率(4・5歳児)	%	94	82							
	園内研修回数	回	17	17	事業費	1,384	1,399				
	保護者向け講演会参加者数	人	200	210	特定財源	1,384	1,399				
所管課	親子が参加する教育活動参加者数	組	208	208	一般財源	0	0				
寒川幼稚園	園だより等発行回数	回	20	20							
	数値化できない成果	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0539000	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す							保護者は、情報が氾濫している中でどれを選択すればよいのか迷っているようだ、幼稚園が子育て支援についての拠点となるよう考えていく必要がある。	定期的な園だより、子育て通信、クラスだより等による情報の公開並びに講演会、家庭教育学級の内容充実を目指し、幼稚園が子育て支援の核となるようにする必要がある。	継続する
<b>事業名</b>											
長尾幼稚園教育事業	<b>指標名</b>	<b>単位</b>	<b>計画(予測)</b>	<b>実績</b>	<b>コスト(千円)</b>						
						<b>計画</b>	<b>実績</b>				
	就園率	%	55	54							
	園内研修回数	回	45	42	<b>事業費</b>	1,192	1,242				
	保護者向け講演会参加者数	人	300	300	<b>特定財源</b>	1,192	1,242				
<b>所管課</b>	親子が参加する教育活動参加者数	組	330	300	<b>一般財源</b>	0	0				
長尾幼稚園	園だより等発行回数	回	30	30							
	<b>数値化できない成果</b>	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									
0539100	幼稚園児・保護者	保育内容の充実と一人一人に応じた保育を進めることにより、幼児の育ちを確かなものにしていくとともに、活動状況等積極的な情報提供を行い、信頼される幼稚園経営を進める。また、幼児の健康管理とともに施設を良好な状態に維持管理し、安全な教育環境を確保することにより、幼児の健やかな成長発達を支援す							・子育ての大切さを知らせる親育ては、社会状況にも応じながら内容や方法を変えて家庭教育学級や学級懇談等学んでいく必要がある。 ・家庭や地域においても人間関係が希薄化しつつあるため、人とのかかわりや生きる力は継続して育てていかなければいけない。また、地域に出向きたり、地域の人材を活用することで、地域に開かれた幼稚園を目指し幼稚園教育の重要性を地域に知らせる。 ・小学校への滑らかな接続を考えた連携の在り方に努めていく。	・建物等の老朽化の問題はあるが、地域の特性を取り入れ、子ども達の発達に即した教育・保育を進めていき、地域に開かれた幼稚園を目指してほしい。また、幼稚園教育の重要性を地域に知らせ、就園率増に繋がるようお願いしたい。	継続する
<b>事業名</b>											
造田幼稚園教育事業	<b>指標名</b>	<b>単位</b>	<b>計画(予測)</b>	<b>実績</b>	<b>コスト(千円)</b>						
						<b>計画</b>	<b>実績</b>				
	就園率	%	99	85							
	園内研修回数	回	75	73	<b>事業費</b>	1,106	1,044				
	保護者向け講演会参加者数	人	192	81	<b>特定財源</b>	1,106	1,044				
<b>所管課</b>	親子が参加する教育活動参加者数	組	256	384	<b>一般財源</b>	0	0				
造田幼稚園	園だより等発行回数	回	30	30							
	<b>数値化できない成果</b>	すべての園児について教育要領に掲げた目標を達成する									
0536301	幼児、児童・生徒・教職員	幼児、児童・生徒等の健康管理や適正な就学を図り、望ましい学校教育を支援するとともに、教職員の資質向上等を図る。							学校訪問において、教科指導員を委嘱し、昨年度以上に活用することに努めたが、指導員全員に指導の機会を与えることができなかった。	学校訪問において、新学習指導要領完全実施に向けて、より具体的な指導となるようにしたい。	継続する
<b>事業名</b>											
学校教育推進事業(教科等指導員)	<b>指標名</b>	<b>単位</b>	<b>計画(予測)</b>	<b>実績</b>	<b>コスト(千円)</b>						
						<b>計画</b>	<b>実績</b>				
					<b>事業費</b>	21	7				
					<b>特定財源</b>	0	0				
<b>所管課</b>					<b>一般財源</b>	21	7				
学校教育課											
	<b>数値化できない成果</b>	各学校(園)の訪問時に公開する授業教科の関係で、全ての指導員が授業参観・指導を行うことができないので、活用の実数は年度により異なる。									

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0535900	小・中学校における児童生徒及び教職員	学校教育に関する専門的指導に従事する指導主事を配置することにより、教職員の資質の向上及び学校教育活動の適正な推進を図る。						指導主事配置事業については割愛人事となることから、問題点等の洗い出しが急務である。	すでに割愛人事により実施しているまんの町及び多度津町の事例を参考にし、他市の状況を勘案しながら取り組む必要がある。	継続する
事業名										
指導主事配置事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	指導主事配置人数	人数	2	2						
					事業費	20,317	19,655			
					特定財源	0	0			
所管課					一般財源	20,317	19,655			
教育総務課										
	数値化できない成果									
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0537300	管内幼稚園及び小・中学校の園児・児童・生徒	より安全でよりおいしい給食の提供と効率的な調理の推進。地産地消および食育の推進。						重要指標の調理単価を下げるため、光熱水費等の経費の削減に努めているが、経費の中で大きな部分を占める修繕費については竣工後11年を経過し、大型調理機器等の故障が多く発生し、修繕費が多額に昇ってきている。また今後の学校再編計画等により喫食人数の変化・クラス数の増減等により、さまざまな設備投資が必要となるため調理単価は年々増加していくものとする。	修繕費については、経年劣化による増加はあると考えるが、必要最小限の範囲の修繕にとどめ維持していくこととする。また学校再編に伴う施設整備についても、順次対応していくものとする。	継続する
事業名										
学校給食共同調理場事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	給食1食あたりの調理単価	円	359	367						
					事業費	336,953	319,412			
					特定財源	225,146	212,278			
所管課					一般財源	111,807	107,134			
学校教育課										
	数値化できない成果									